

# 興味があるなら体験してみよう! 「職場体験事業」から始める

# 福祉のお仕事



「福祉の仕事に興味がある」「福祉の仕事に就きたい」。でも、職場も仕事内容も、まだよく理解できていない……。そこで活用したいのが、千葉県社会福祉協議会と千葉県福祉人材センターが実施している、福祉の「職場体験事業」（以下、職場体験）。今回は職場体験を「受け入れている」「参加した」「つなぐ役割を担った」三者に、それぞれ感想を語っていただきました。



## これからの人生に必ず役立つ リアルな社会体験に感動!

母が介護福祉士として働いているので、以前から福祉の仕事には興味があったのですが、他の施設の実情も見たいと思い、今回の職場体験に参加しました。

まだ1日目ですが、利用者の方々やふれあったり、介護福祉士や保育士など、様々な職種の方々とお話ができて、いろいろなことを学べたと思います。

私は看護師を目指しているので、実際に福祉の現場で働く看護師の方から、実務に関するお話が聞けたことは、大きな収穫となりました。

職場体験では社会に出たひとりの大人として扱われ、保護者や先生以外の大人と接し、様々な指摘やお叱りも受けましたが（笑）、これがとても良い刺激となり、今後、必ず自分の糧になると感じています。

わずか2日間ですが、このリアルな社会体験は、これからの人生に必ず活かせると確信しています。

### 体験した



千葉県立四街道高等学校  
介護体験 小松 琴音さん

### 受け入れている



医療法人社団 皖会  
保育・介護複合施設 きわみ  
施設長 海沼 信彦さん

## 知識を得るより大切なのは 気付きを増やして帰ること!

「職場体験」を受け入れようと思った理由は、3年前からこの施設にボランティアに来てくれている四街道高校の生徒さんたちへの恩返しとして「進路選択のお手伝いが少しでもできれば」という気持ちがありました。

この施設には、高齢者・子どもの利用者以外に、福祉系の職種はもちろん、リハビリ職、看護師、歯科衛生士、栄養士、保育士などの多職種の職員が働いています。また、周辺地域からは、保育園の園児～大学生・ボランティアさん・住民の方々年間2,000人ほど訪れています。こうした様々な人々が集う現実社会に触れることのできる環境の中で、生徒さんには、出会いを通して、たくさんの気づきを持ち帰ってほしいと思っています。そして、この職場体験が福祉に興味を持つきっかけとなり進路選択の参考になれば幸いです。

今後も少しでも生徒さんの将来の夢の実現のお手伝いができるよう、日常から学校と施設のよりよい関係づくりに努めていきたいと考えています。



## つなぐ役割を 担った

千葉県立四街道高等学校  
養護教諭  
高野 直美さん

## 福祉の現場を体験すること それは社会の一面を知ること

以前からボランティアで交流している「きわみ」さんから「職場体験」のお話をいただいた時、大変うれしく思いました。

職場体験の前には、「どんなことを体験したいのか」希望を聞き、その希望を受け入れ先と相談することにより、夢を実現するためのオリジナ

ルな職場体験を計画していただくことが可能となっています。

生徒たちにとって福祉の現場を体験することは、すなわち社会の一面を知ることであり、自分の将来像を描くきっかけにもなると思っています。

学校生活の悩みや、乗り越えねばならない課題を抱えている生徒にとっても、学校以外の場所で自分の居場所を見つけること、自分が誰かのために役立つ喜びを知ることが、その子の生きる力となると感じています。

今後も生徒たちを学校から社会へつなぐ役割を担い、一人ひとりの成長を支えていきたいです。

## 職場体験事業とは

職場体験事業は、千葉県にお住まいで、福祉・介護の仕事に興味・関心を持っている方、県内の社会福祉施設（高齢・障害・児童・保育分野）などに就職を希望している方などを対象に、本体験を通じて実際の職場の雰囲気や業務等を直接知ることにより、求人側・求職側のギャップを埋め、円滑な人材確保の促進を図ることを目的としています。

